

9月24日(日)

「キラリ輝く介護の魅力！介護技術コンテスト2017」盛況に終了しました！

★実技発表結果★

～テーマ「食事介助」～

最優秀賞 社会福祉法人嶽陽会 特別養護老人ホーム松山荘(弘前市)
會津 彩佳 氏、福真 宏太郎 氏、岩谷 いつみ 氏



(左から)岩谷 氏、福真 氏、會津 氏

優 秀 賞

社会福祉法人柏友会
特別養護老人ホーム桑寿園(つがる市)
齋藤 友子 氏、工藤 ふじ子 氏、伊藤 伸哉 氏



介護技術コンテスト検討・審査委員会 特別賞

社会福祉法人青森社会福祉振興団
特別養護老人ホームみちのく荘(むつ市)
堺 香菜 氏、浜辺 将志 氏、澤口 陽子 氏



受賞者の皆様には賞状と特典が授与されました。おめでとうございます！

★コンテスト風景★

実技発表は、『左上下肢に麻痺があり食事の自力摂取が難しく、嚥下に不安がある利用者』に、安全に食事介助を行う』という場面設定でした。

発表チームは、利用者の心情に配慮した声かけや、できることはしていただくための配慮、むせることを防ぐための口腔体操等、それぞれに工夫した介護技術を披露しました。



オープニングセレモニーでは三内保育園の皆さんに鼓笛演奏を披露して頂きました。元気いっぱいの姿で会場は笑顔に！

真剣に発表に見入る満員の観覧者
時には笑いも起こり、とても良い雰囲気でした。



生き生きとした生活のためには整容のチェックも大事なことです。



施設の特徴・理念などを、手作り資料でPR



目線を合わせることはコミュニケーションの基本ですね！



忙しい中でもやさしい言葉掛けを忘れないようにしています。



自分でできることはやっていただくよう、上手に促します。



会話の中にユーモアを交えれば、食事の時間の楽しみが増えますね。



休憩時には最新の介護機器展示体験コーナーも賑わいました。



和やかな雰囲気の中にも、プロの気配りが光ります。



審査中は、『笑って！学んで！認知症を理解しよう』というテーマで十和田市立中央病院の竹内淳子氏による講演と“じゅんちゃん一座”による寸劇が披露され、大好評でした。

★実技発表チームの声（抜粋）

- 「他施設の自分より経験豊富な方々の介護技術を間近に見られる機会はめったにないので参加してよかった」
- 「利用者様主体である事を忘れず心から思いやる気持ちで介護していきたいと改めて感じた。」
- 「介護技術について職員同士で話し合い再確認でき、勉強になった。」
- 「一つのテーマや場面に対して、色々なアイデアや対応の仕方があり、とても考えさせられた。この対応の幅の広さが介護の楽しいところでもあり、難しいところだと思う。」
- 「他の事業所の取組を見て勉強になったし、よりやりがいを感じた」

★観覧者の声（抜粋）

- 「各施設によって表現が違ったり注目してほしいところなど違い、たくさんの面で学ぶことができた。」
- 「楽しく勉強させていただき、良かったです」
- 「目配り、気配り、心配りの大切さを改めて感じました。」
- 「とても良いものなので、もっと大きく広めてほしい」
- 「私も利用者の心を動かす介護を行いたいと改めて強く心に思いました。」
- 「言葉で“こういう方法がある”と聞くよりも、実際に見た方がすごく勉強になると感じた。」
- 「（介護の仕事で）働きたいと思う気持ちが深まった」



**発表者の皆様、観覧いただいた皆様
ありがとうございました！**